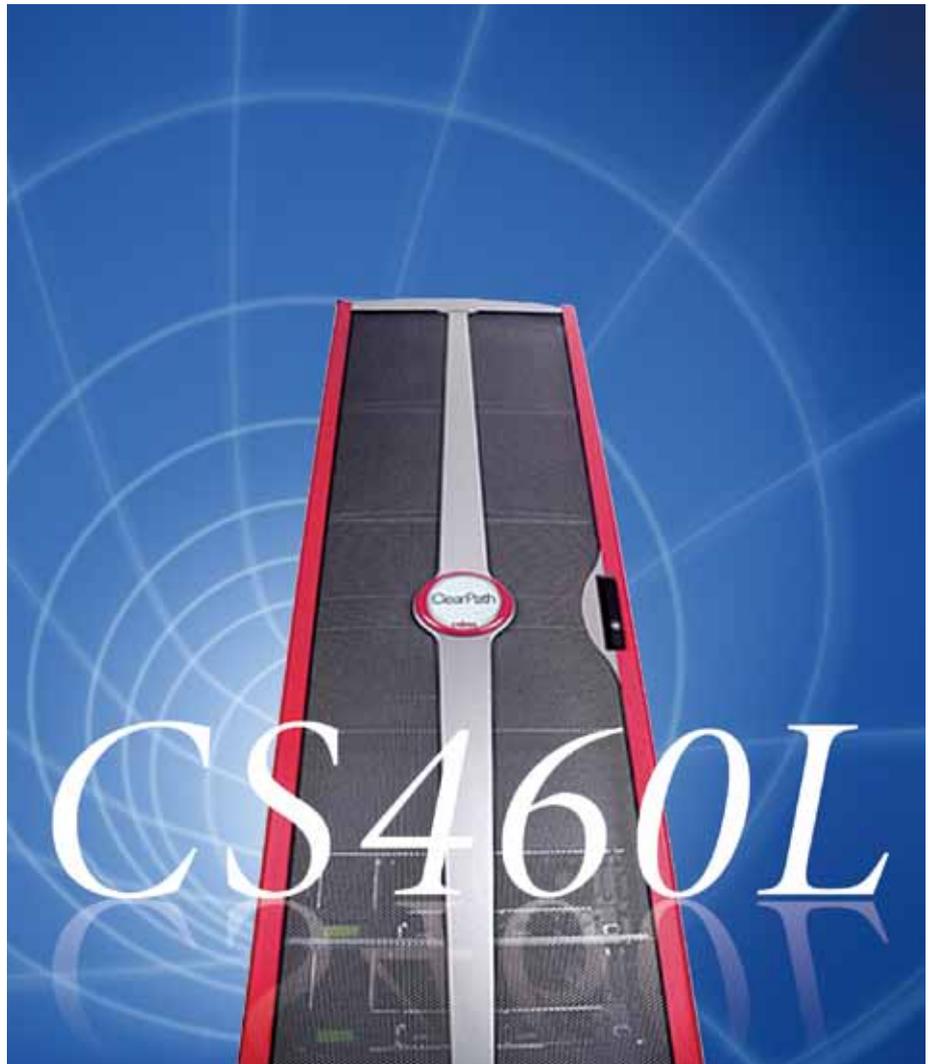


Unisys ClearPath® Server CS460L

UNISYS



Unisys ClearPath Server CS460Lは、Intel Quad Core Xeonプロセッサを搭載した最新の小型メインフレームです。搭載するオペレーティングシステムは、1961年に提供を開始して現在も機能拡張を続けているMaster Control Program (MCP) を搭載、お客様のIT資産をそのまま継承します。最新のハードウェア技術と半世紀にわたって進化を続けるMCPソフトウェアを組み合わせ、さらにiPhoneなどのモバイル連携を可能にするClearPath Portal機能も提供することで、使い易く運用しやすいシステム環境を提供します。CS460Lは、あらゆる企業のビジネス・インフラストラクチャとして、お客様の価値創造を実現します。

クラス最速の処理性能で、お客様の要求に応える最適なシステムを提供します。 ClearPath Server CS460Lシリーズ

CS460L



ClearPath Serverの小型機シリーズで最新機種となるCS460Lは、Intel® Quad Core Xeon® プロセッサを搭載してクラス最速の処理性能を提供します。多彩な提供モデルで柔軟に活用できるCS460Lなら、基幹系システムの新たな価値を引き出します。

提供モデル

CS460Lをご利用いただくにあたっては、2つの提供モデルから最適なものをお選びいただけます。お客様のニーズに合った契約形態で、ROIを高めることができます。

小型機としての「十分な性能」を「より廉価に」提供する"CALモデル"

CALモデルは、ユーザ数に合わせて料金を設定するユーザライセンス契約の方式を採用。ユーザ数の増加が生じて、投資を無駄にすることなく、最適なライセンス数でご利用いただけます。ライセンス数は、最少8から最大544まで、必要に応じて8ライセンス単位で追加が可能です。

処理能力の増強が可能な"パフォーマンスモデル"

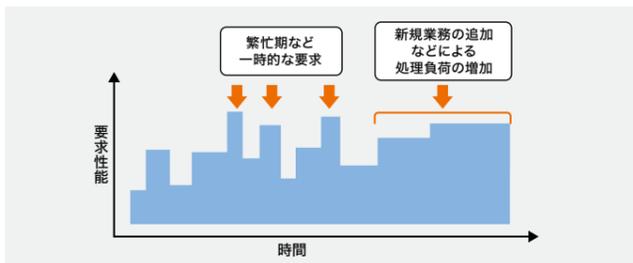
パフォーマンスモデルでは、972~1,823RPM (注)までの間で異なる処理性能を提供するモデルです。この提供形態により、段階的なアップグレードはもちろん、必要なときに必要な性能が得られるキャパシティ・オン・デマンド (COD) 機能を採用することも可能です。トランザクション量の増大や月次処理など一時的な処理量増大にも対応可能な契約形態です。

(注) RPM (Relative Performance Measurement) は、MCP系プロダクトの性能を表す独自性能単位です。MCP (Master Control Program) はUnisys Corporationが開発したオペレーティングシステムです。

最適な性能レンジと開発環境

必要なときに必要な性能を、キャパシティ・オン・デマンド機能 (COD)

キャパシティ・オン・デマンド機能はMaster Control Programが提供する動的プロセッサ性能制御機能です。実装された物理プロセッサの潜在的な処理性能を必要に応じて動的に追加できます。このキャパシティ・オン・デマンド機能により、予想外の急激なデータ増、トランザクションの季節変動、予期せぬシステム障害等の対応が容易になります。



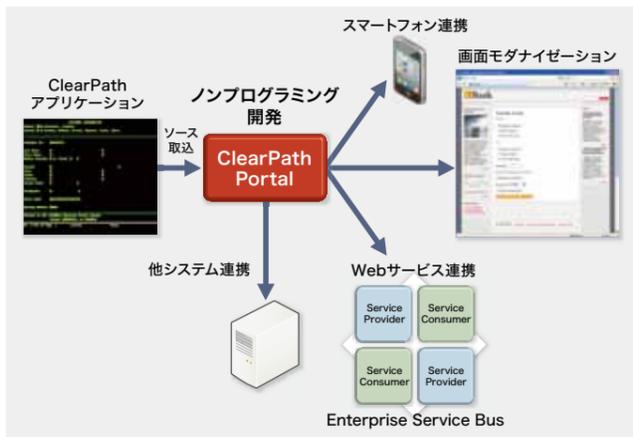
CODは利用形態に応じて

- TW (テンポラリ・ワークロード) : ビジネスにおける突発的な業務量の増加に対応
- ER (エマージェンシ・リカバリ) : 他サーバで発生した障害や予測できない性能ロスをカバー
- DR (ディザスタ・リカバリ) : 災害にあった他サーバの性能ロスをカバーの3種類が提供されます。

Web/モバイル連携、モダン化、開発環境

基幹系アプリケーションをモバイル端末で活用、最先端ビジネスを提供するClearPath Portal

ClearPath Portalは既存システムのモダン化を支援するWeb連携ソリューションです。従来の専用端末からしかアクセスできなかった基幹系アプリケーションを、付属のDeveloperを用いてノンプログラミングでWebブラウザ、モバイル端末、スマートフォン、Webサービスと連携させることができます。Developerで作成したWebアプリケーションは、Web連携用にセキュリティを強化したClearPath Portalで実行されます。

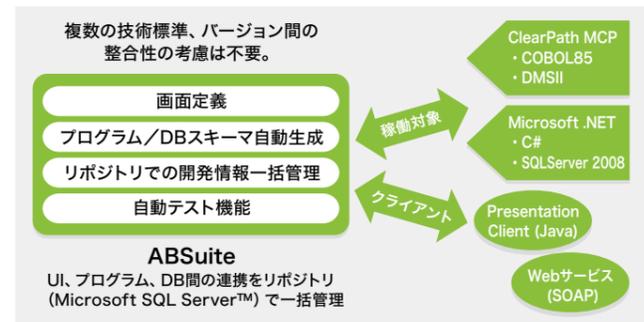


統合開発/実行環境ABSuite®登場

ABSuite[®]は、統合アプリケーションを素早く簡単に構築し、統合的に保守・管理が出来るツールです。ABSuiteの開発環境は、Microsoft社のVisual Studio[®]2008にスナップインしています。

- PIM^{注2)}型開発: 稼働対象プラットフォームを意識することなく、データベース連携を含むオンライン・トランザクション、バッチシステムなどを効率的に開発することができます。
- ターゲットとなるシステムは、Microsoft .NET FrameworkとClearPath MCPです。
- 自動テスト機能を標準でサポート: 煩雑で単調な確認作業の負担を軽減します。
- 高生産性スクリプト言語LDL+^{注3)}を採用: LINC[®]2000 Developer 3.3で記述されたSW (LDL) 資産からも簡単に移行することができます。

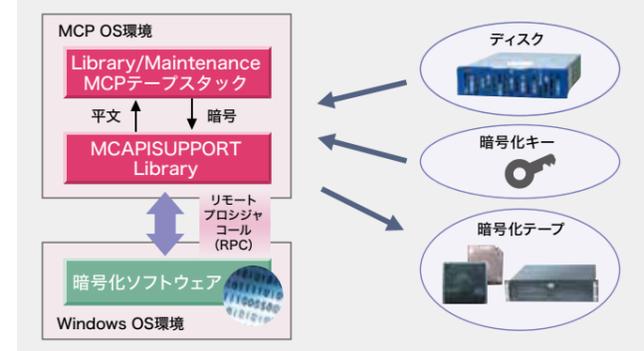
注1) ABSuite: Agile Business Suite 注2) PIM: Platform Independent Model 注3) LDL+: Logical Definition Language plus



その他の主な機能

データの暗号化: CS460Lシリーズのテープ暗号化

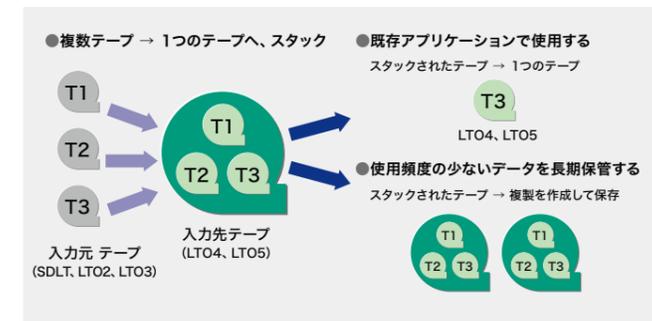
CS460Lシリーズのテープ暗号化機能は、3DESまたはAESに対応する暗号化アルゴリズムに基づいて、安全にCS460Lシリーズ内のデータをテープに読み書きする暗号化ユーティリティです。MCP OS環境から暗号化/復号化の操作が可能であり、後述するテープスタック機能と併用することで、既存テープ資産を安全かつ効率的に保存することができます。また、テープ暗号化/復号化処理は、別のプロセッサで処理を行いますのでMCP OS環境に負荷をかけることなく効率的に実行することができます。



さらに、ネットワークからの攻撃に対する防衛機能として、ブロードキャスト・ストームの抑止機能、動的フレーム・フィルタリング機能、IPセキュリティ機能といったTCP/IP関連の機能を継続的に強化し続けています。

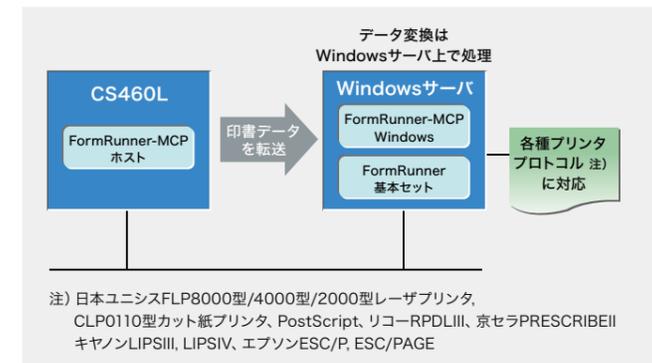
既存テープ資産を集約して保存: MCPテープスタック

複数の既存テープ資産を、大容量テープにまとめて蓄積 (スタック) することができるソフトウェア・ユーティリティです。SDLT (300GB)、LTO2 (200GB)、LTO3 (400GB) などの旧型低容量メディアをLTO4 (800GB)、LTO5 (1.6TB) の最新大容量メディアに集約保存できますので、使用頻度は少なくとも重要なデータを効率的に保管することができます。



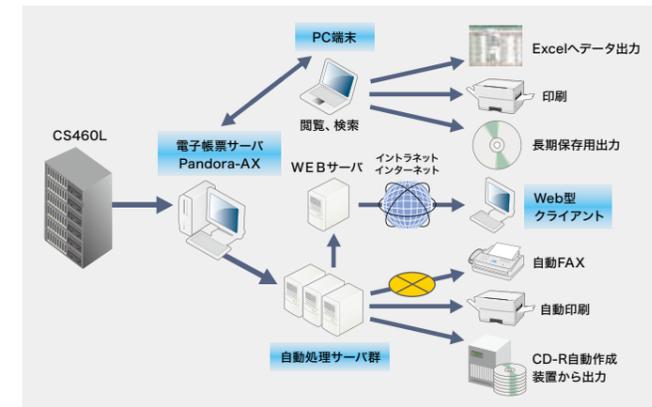
ホスト帳票をオープン系プリンタへ印刷: FormRunner-MCP

FormRunner-MCPは、ホスト上で作成された帳票ファイルをWindowsサーバ経由でオープン系プリンタに印刷するためのソフトウェアです。図に示すような各種のプリンタへ出力できますので、効率的な印書環境を実現することができます。



ホスト帳票を電子帳票に変換: UNIREP[®]-V

電子帳票システム UNIREP-Vは、ホスト上で作成された帳票データを変換しWindowsサーバ上で稼働するPandora-AXサーバに格納、クライアントPCから野線付き表示、検索、印書などを実現するソフトウェアです。



■CS460L基本ハードウェア構成

機種	ClearPath Server CS460L
タイプ	タワー型/ラック型
CPU 搭載数	2 (インテル・クアッド・コア・プロセッサ)
プロセッサタイプ	Intel®X64 Xeon® Processor 3.3GHz
IE (Image Enabler)	972-1,823RPM
メモリ容量	64GB
内蔵ディスク	300GB x 16
最大I/Oスロット数	PCIe x 7
Operating System	MCP 14.0
外形寸法 (mm)	タワー: 3079 (W)/714.1 (D)/443.5 (H)、ラック: 430.5 (W)/714.1 (D)/217.9 (H) ラックキャビネット: 606.8 (W) /1172.2 (D) /1930.4 (H)
本体重量	46.0 kg 注1)
電源	タワー: 50-60Hz 単相100V (2個)、ラック: 50-60Hz 単相200V (2個)
パワーサプライ	1100W x 2
発生熱量(BTU/時)	4100BTU/時
エネルギー消費効率 注2) (2011年度基準)	L区 1.1
環境温度	動作時: 10°C ~ 35°C
環境湿度	動作時: 最大湿球温度29°Cで20~80% (結露しないこと)

注1) 重量は本体モジュールのみの最大構成値

注2) エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

■日本語印書装置

名称	8000型レーザープリンタ	4000型レーザープリンタ	2000型レーザープリンタ
ホストとの接続形態	イーサネット (TCP/IP)	イーサネット (TCP/IP)	イーサネット (TCP/IP)
印字方式	LED書込み乾式電子写真方式	LED書込み乾式電子写真方式	レーザー・ビーム電子写真方式
印字速度	8,250行/分	4,000行/分	2,550行/分
印字用紙幅	6.5~18インチ	6.5~18インチ	6.5~16インチ
用紙サイズ	—	—	—

名称	0550型リモートプリンタ	0205型リモートプリンタ	0850型リモートプリンタ	0110型カット紙プリンタ
ホストとの接続形態	イーサネット (TCP/IP)	イーサネット (TCP/IP)	イーサネット (TCP/IP)	イーサネット (TCP/IP)
印字方式	インパクト・ドットライン方式	インパクト・ドットライン方式	ドットマトリクス・インパクト方式	半導体レーザー乾式2成分電子写真方式
印字速度	530行/分	205行/分	150行/分	110ページ/分 (A4片面・両面)
印字用紙幅	3.5~16インチ	3.5~16インチ	3~16インチ	—
用紙サイズ	—	—	—	A3、A4、B4、B5



CS460L ラックキャビネット外観

CS460L タワー型システム外観

※ABSuite、ClearPathおよびLINCは、Unisys Corporationの登録商標です。

※UNIREPIは、日本ユニシス株式会社の登録商標です。

※FormRunnerは、三菱電機株式会社の登録商標です。

※Intel、インテルおよびXeonは、Intel Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Pandora-AXは、株式会社NTTデータビジネスプレインズの登録商標です。

※Microsoft、WindowsおよびSQL Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

※その他記載されている製品名、会社名等は各社の登録商標または商標です。

■磁気テープ装置

項目	ALP604型
インターフェース	SCSI LVD
ドライブ数	LTO Ultrium4 Half High x 1 Drive
データ転送速度	80MB/秒 (非圧縮)
記録方式	896トラック サーペンタイン
記録容量	800GByte (非圧縮)

■LAN直接接続用通信制御装置

名称	Gigabit Eth-NIC
ホストとの接続形態	内蔵
最大回線速度	1000Mbps
最大制御回線数	イーサネットLANで2回線
プロトコル	TCP/IP

日本ユニシス株式会社

本社 東京都江東区豊洲1-1-1 135-8560

電話 03-5546-4111 (大代表)

<http://www.unisys.co.jp/>

●お問い合わせ先